

2026年度

【4月入学】

【9月入学】

南山大学大学院 入学試験要項

人間文化研究科

キリスト教思想専攻（博士前期課程）

宗教思想専攻（博士後期課程）

人類学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

教育ファシリテーション専攻（修士課程）

言語科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

■ 一般入学試験

■ 社会人入学審査

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

■ 建学の理念	1
■ 3つのポリシー	1

■ 入学試験日程【2026年4月入学】	2
■ 一般入学試験【2026年4月入学】	2
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 試験科目および日時	5
4. 出願書類	7
5. 出願書類についての注意事項	7
6. 出願書類記入上の注意	8
7. その他	9
■ 社会人入学審査【2026年4月入学】	10
1. 募集人員	10
2. 出願資格	10
3. 選考方法および日時	12
4. 出願書類	13
5. 出願書類についての注意事項	13
6. 出願書類記入上の注意	14
7. その他	15

4月入学

■ 入学試験日程【2026年9月入学】	16
■ 一般入学試験【2026年9月入学】	16
1. 募集人員	16
2. 出願資格	16
3. 試験科目および日時	19
4. 出願書類	21
5. 出願書類についての注意事項	21
6. 出願書類記入上の注意	22
7. その他	23
■ 社会人入学審査【2026年9月入学】	24
1. 募集人員	24
2. 出願資格	24
3. 選考方法および日時	26
4. 出願書類	27
5. 出願書類についての注意事項	27
6. 出願書類記入上の注意	28
7. その他	29

9月入学

■ 共通事項【2026 年 4 月入学・2026 年 9 月入学】	30
1. 入学検定料	30
2. 出願方法（郵送に限ります）	30
3. 受験票の受け取り	30
4. 試験場	30
5. 試験当日の注意事項	30
6. 筆記試験について	31
7. 口述試問について	31
8. 合格発表	31
9. 入学手続	31
10. 入学試験に関する個人情報開示	32
11. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度	33
12. 【修士・博士前期・専門職学位課程】日本学生支援機構奨学金授業料後払い制度	33
13. 入学試験参考図書リスト	33
南山大学構内図・南山大学アクセスマップ	

■入試に関する情報は、南山大学大学院 Web ページでご確認ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/grad/>

不測の事態により、この要項に記したことに変更が生じる場合や、追加でお知らせする場合は、全てこのページに掲載します。

適宜ページをご確認いただきますよう、お願いいたします。

■個人情報の取り扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。

上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。

あらかじめご了承ください。

■ 建学の理念

【建学の理念】

本学は「キリスト教世界観に基づく学校教育」を建学の理念とし、その建学の理念に具体的な方向性を与えるために「人間の尊厳のために (Hominis Dignitati)」という教育モットーを掲げています。

【目的】

本学大学院は大学学部における教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究し、その深奥を究めると共に、キリスト教世界観に立ち、人間の尊厳を自覚した社会人として、文化の進展と人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的としています。

したがって本学は、専門的研究に従事するために必要な素養を持ち、さらにその研究成果を人間の尊厳を尊重しつつ社会生活と人間性の向上に応用できる人材を受け入れることを目指しています。

■ 3つのポリシー

本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」をもとに、大学院の各研究科・専攻でディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を設けています。この3つのポリシーについては以下のWebページをご参照ください。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/hoshin/policy.html>

■入学試験日程【2026年4月入学】

夏季試験合格者および春季試験合格者とも入学時期は2026年4月です。

合格者のうち、2026年3月卒業見込者または修了見込者については内定とします。

	出願期間・入学検定料振込期間	試験日	合格発表
夏季	2025年6月6日(金)～6月16日(月) 【消印有効】	2025年7月12日(土)	2025年7月17日(木) 13:00
春季	博士前期課程・修士課程 2026年1月5日(月)～1月15日(木) 【消印有効】 博士後期課程 2026年1月5日(月)～1月21日(水) 【消印有効】	2026年2月21日(土)	2026年3月5日(木) 13:00

■一般入学試験【2026年4月入学】

1. 募集人員（一般入学試験）

キリスト教思想専攻（博士前期課程） 8名

社会人入学審査（若干名）、推薦入学審査〔南山大学在学生対象〕（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

宗教思想専攻（博士後期課程） 3名

社会人入学審査（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

人類学専攻（博士前期課程） 8名

社会人入学審査（若干名）、推薦入学審査〔南山大学在学生対象〕（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

人類学専攻（博士後期課程） 3名

社会人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

教育ファシリテーション専攻（修士課程） 若干名

他に、社会人入学審査（約7、8名）、推薦入学審査〔南山大学在学生対象〕（若干名）の募集がある。

言語科学専攻（博士前期課程） 12名

社会人入学審査（若干名）、推薦入学審査〔南山大学在学生対象〕（若干名）、南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

言語科学専攻（博士後期課程） 4名

社会人入学審査（若干名）、南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

2. 出願資格（一般入学試験）

次のいずれかに該当する者または2026年3月末までに該当見込みの者とする。ただし、外国籍の者が春季試験に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程・修士課程

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年3月末までに22歳に達している者

〔注〕出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日（水）＜消印有効＞までに、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

言語科学専攻の言語能力に関する出願要件

次の a, b いずれかの条件を満たす者

a	日本語教育領域を専攻するか、あるいは日本語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』360点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 （*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要） ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読む能力があること
b	英語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること（*ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 （*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要）

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」(所定用紙Ⅰ)を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日(水)〈消印有効〉までに、春季に出願の場合は2025年11月5日(水)〈消印有効〉までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書(厳封)を必ず同封してください。

言語科学専攻の言語能力に関する出願要件

次の a, b いずれかの条件を満たす者

a	言語習得論領域で日本語教育を専攻するか、あるいは日本語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1(旧1級)、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』380点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 (※ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要) ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読みこなす高度な能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 1) 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの(例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた修士論文) 2) 英語試験(読解)の結果(例えば、IELTS (reading) 6以上、または、TOEFL-iBT (reading) 30点中18点以上、英検準1級以上)を満たしていること(ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要)
b	英語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること(※ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要) 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2(旧2級)、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 (※ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要)

3. 試験科目および日時（一般入学試験）

博士前期課程・修士課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
キリスト教思想	【夏季】 2025 年 7 月 12 日（土） 【春季】 2026 年 2 月 21 日（土）	—	書類審査	100 点	
		10 : 00 ～11 : 30	基礎知識に関する 筆記試験	100 点	神学・哲学・宗教学から 1 領域を出願時に選択
		12 : 30 ～14 : 00	外国語に関する 筆記試験	100 点	英語・独語・仏語のうちいずれかを出願時に選択 辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		15 : 00～	口述試問	100 点	
人類学	【夏季】 2025 年 7 月 12 日（土） 【春季】 2026 年 2 月 21 日（土）	—	書類審査	100 点	
		10 : 00 ～11 : 30	基礎知識に関する 筆記試験	100 点	文化人類学・考古学から 1 領域を出願時に選択
		12 : 30 ～14 : 00	外国語に関する 筆記試験	100 点	英語・西語・中国語・日本語のうちいずれかを出願時に選択（ただし、日本語を第一言語としない志願者は「日本語」で受験すること） 辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		15 : 00～	口述試問	100 点	
教育フロンティーション	【夏季】 2025 年 7 月 12 日（土） 【春季】 2026 年 2 月 21 日（土）	—	書類審査	100 点	
		10 : 00 ～12 : 00	小論文	100 点	教育学・心理学・人間関係論に関する基礎知識、データ分析力、英語読解力、論述力をみる。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		13 : 00～	口述試問	100 点	
言語科学	【夏季】 2025 年 7 月 12 日（土） 【春季】 2026 年 2 月 21 日（土）	—	書類審査	50 点	研究計画書を重視する。
		10 : 00 ～11 : 00	英文資料を 基に解答する 科目	50 点	言語に関する一般的な内容の英文資料を読んで解答する。 辞書持ち込み不可
		11 : 15 ～12 : 15	専門領域に関する 論述試験	50 点	言語学、日本語教育、英語教育の各領域から出題される問題の中から選択して解答する。 主に各領域の基礎的知識および論述力をみる。
		13 : 30～	口述試問	50 点	志望する主たる研究領域が英語教育である志願者については、口述試問の一部を英語で行う。

博士後期課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
宗 教 思 想	【夏季】 2025 年 7 月 12 日（土） 【春季】 2026 年 2 月 21 日（土）	—	書類審査	100 点	
		10 : 00 ～11 : 30	専門領域に関する 筆記試験	100 点	神学・哲学・宗教学から 1 領域を出願時に選択
		12 : 30 ～14 : 00	外国語に関する 筆記試験	各 50 点 合計 100 点	神学領域志願者：古典語（ヘブライ語・ギリシャ語・ラテン語のうち 1 つ）と英語・独語・仏語のうち 1 つの計 2 つを出願時に選択 哲学領域志願者：古典語（ギリシャ語・ラテン語のうち 1 つ）と英語・独語・仏語のうち 1 つの計 2 つを出願時に選択 宗教学領域志願者：英語 1・英語 2・独語・仏語のうちから計 2 つを出願時に選択 辞書持ち込み可 （逆引辞書不可、電子辞書不可）
		15 : 00～	専門領域に関する 口述試問	100 点	提出された論文は、その内容を再審査をするものではありません。
人 類 学	【夏季】 2025 年 7 月 12 日（土） 【春季】 2026 年 2 月 21 日（土）	—	書類審査	100 点	
		10 : 00 ～11 : 30	専門領域に関する 筆記試験	100 点	文化人類学・考古学から 1 領域を出願時に選択
		12 : 30 ～14 : 00	外国語（英語）に 関する筆記試験	100 点	文化人類学・考古学から 1 領域を出願時に選択 辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		15 : 00～	専門領域に関する 口述試問	100 点	
言 語 科 学	【夏季】 2025 年 7 月 12 日（土） 【春季】 2026 年 2 月 21 日（土）	—	書類審査	50 点	研究計画書を重視する。
		13 : 00～	口述試問	50 点	提出論文、研究計画書の内容に加えて、言語理論または言語習得論に関する知識を問う。

4. 出願書類（一般入学試験） ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦 4cm×横 3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	〈博士前期・修士課程志願者〉 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。 〈博士後期課程志願者〉 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程・博士前期課程）等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
4	入学志願者調書	所定用紙③
5	志望理由書	所定用紙④
6	推薦書 1 通（厳封のもの） ・教育ファシリテーション専攻志願者は除く（志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること）	所定用紙⑤
7	〈博士後期課程志願者〉 論文（公刊・未公刊は問わない） ・修士論文を書き終わっている場合は、修士論文のコピーを提出してください。 ・修士論文以外の業績（論文）がある場合は、その抜き刷りあるいはコピーも提出してください。 ・ただし、提出された論文の扱いは、専攻によって異なります。	
8	研究計画書 3 部（言語科学専攻は 1 部）（コピー可）	所定用紙⑥
9	語学能力証明書【言語科学専攻】 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。	所定用紙⑦
10	〈博士後期課程志願者〉 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑧
11	修業年限短縮願（希望者のみ）	所定用紙⑨
12	宛名シール（宛名明記）	
13	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付）	
14	入学検定料（30,000 円）振込領収書 ・ATM 利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑩
15	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑪
16	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	

5. 出願書類についての注意事項（一般入学試験）

- 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で 原本

が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。

- (4)「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意（一般入学試験）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および可否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書（所定用紙③）

キリスト教思想専攻、宗教思想専攻および人類学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	基礎知識に関する筆記試験	外国語に関する筆記試験
キリスト教思想		英語・独語・仏語のうち1科目を○で囲む。
宗教思想	神学領域・哲学領域・宗教学領域のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	各領域で、指定している外国語のうちから2科目を選択して○で囲む。 神学領域：古典語（ヘブライ語・ギリシャ語・ラテン語のうち1つ）と英語・独語・仏語のうち1つを選択。 哲学領域：古典語（ギリシャ語・ラテン語のうち1つ）と英語・独語・仏語のうち1つを選択。 宗教学領域：英語1・英語2・独語・仏語のうちから計2つを選択。
人類学 （博士前期課程）	文化人類学・考古学のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	英語・西語・中国語・日本語のうち1科目を○で囲む（ただし、日本語を第一言語としない志願者は日本語を○で囲むこと）。
人類学 （博士後期課程）		英語〔文化人類学・考古学〕から主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。

言語科学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	志望研究領域	備考
言語科学 （博士前期課程）	言語学・日本語教育・英語教育のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	ただし、筆記試験では志望研究領域とは別の領域の問題を選択してもよい。
言語科学 （博士後期課程）	言語理論・言語習得論から主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	

(3) 推薦書（所定用紙⑤）

指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

(4) 研究計画書（所定用紙⑥）

- ・用紙が不足する場合は、コピーしてください。
- ・各専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	記 入 方 法
キリスト教思想	(1)当該研究に対するこれまでの準備状況 (2)今後の研究課題 (3)博士前期課程2年間の具体的な活動計画を2,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
宗教思想	(1)自身の研究のこれまでの進捗状況、(2)今後の研究課題、そして(3)博士後期課程3年間における具体的な研究計画を4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の書類とともに提出すること。
人 類 学 (博士前期課程)	(1)当該研究に対するこれまでの準備状況 (2)今後の研究課題 (3)博士前期課程2年間の具体的な活動計画を2,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
人 類 学 (博士後期課程)	(1)当該研究に対するこれまでの進捗状況〔修士（博士前期）課程修了見込者については、既に行った調査・研究の結果などを盛り込むこと〕。(2)今後の研究課題 (3)博士後期課程3年間の具体的な活動計画を4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
教育 ファシリテーション	大学院進学目的、研究計画（準備状況も含む）、また大学院での研究と将来との関連について2,000字程度（ワープロA4）でまとめること。なお、これまでの経歴の中で、研究計画と関連する志願者個人、もしくは志願者を含むグループがおこなった研究・実践の報告書（著書や卒業論文、その他論文を含む）があれば添付（各1部）することができる。大学卒業見込の者は、進行中の研究計画書を添付することもできる（「志望理由書：卒業論文（または修士論文）の題名および要旨」欄には記入不要。別途任意のものを添付すること）。
言 語 科 学 (博士前期課程)	大学院進学目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は750語程度でまとめる。言語科学専攻でどの領域を主に専攻していくことを考えているか、どのようなテーマでどのような研究を行う計画か、などについても言及すること。
言 語 科 学 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士または博士前期課程修了見込者についてはすでに行った調査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程3年間における具体的な研究計画を日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は1,500語程度でまとめること。

(5) 修業年限短縮願（所定用紙⑨）

一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期（修士）課程、博士後期課程ともに1年での修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研究科事務室までお問い合わせください。

7. その他（一般入学試験）

- (1) 教育ファシリテーション専攻では、講義は夜間（18：30以降の時間帯）および土曜日を中心に、一部は土日の集中講義、夏期集中講義などとして開講します。詳細については人間文化研究科事務室にお問い合わせください。
- (2) 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
 - ・キリスト教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational Exchanges and Services）実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）程度または独立行政法人日本学生支援機構（Japan Student Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」200点程度の能力が必要です。
 - ・宗教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational Exchanges and Services）実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）程度または独立行政法人日本学生支援機構（Japan Student Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」300点程度の能力が必要です。

⇒ その他の項目について、P. 30以降の共通事項を参照してください。

■社会人入学審査【2026 年 4 月入学】

1. 募集人員（社会人入学審査）

キリスト教思想専攻（博士前期課程）	若干名
宗教思想専攻（博士後期課程）	若干名
人類学専攻（博士前期課程）	若干名
人類学専攻（博士後期課程）	若干名
教育ファシリテーション専攻（修士課程）	約 7、8 名
言語科学専攻（博士前期課程）	若干名
言語科学専攻（博士後期課程）	若干名

2. 出願資格（社会人入学審査）

次のいずれかに該当する者で、かつ、2026 年 3 月末までに各専攻の示す要件を満たす者。ただし、外国籍の者が春季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程・修士課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者で、2026 年 3 月末までに 22 歳に達している者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者

〔注〕出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する人は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、夏季に出願の場合は 2025 年 5 月 14 日（水）＜消印有効＞までに、春季に出願の場合は 2025 年 11 月 5 日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出 願 要 件
キリスト教思想	2026 年 3 月末までに 25 歳に達している者で、大学（外国の大学を含む）等にて神学・哲学・宗教学の基礎を学び、卒業後 3 年以上経過している者、または、大学卒業後 3 年以上経過し、その間に本学にて科目等履修生または研修生として 1 年以上神学・哲学・宗教学の基礎を学んだ者

人 類 学	(1) 大学（外国の大学を含む）卒業後2年以上経過しており、かつ文化人類学あるいは考古学の基礎を学んだ者 (2) 個別の入学資格審査を希望する者については、2026年3月末までに25歳に達している者で、3年以上の社会人経験（特定の職業に従事、各種非常勤職、ボランティアなど、問題意識を育んだ領域で継続的に活動していること）を有する者
教育 ファンリテーション	(1) 大学卒業後3年以上の社会人経験（特定の職業に従事、各種非常勤職、ボランティアなど、問題意識を育んだ領域で継続的に活動していること）を有する者 (2) 個別の入学資格審査を希望する者については、2026年3月末までに25歳に達している者で、3年以上の社会人経験（特定の職業に従事、各種非常勤職、ボランティアなど、問題意識を育んだ領域で継続的に活動していること）を有する者
言 語 科 学	(1) 大学卒業後2年以上言語教育あるいは言語研究に携わった者（非常勤可） (2) 個別の入学資格審査を希望する者については、2026年3月末までに25歳に達している者で、2年以上言語教育あるいは言語研究に携わった者（非常勤可）

博士後期課程

- 修士の学位または専門職学位を有する者
- 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- 文部科学大臣の指定した者
- 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年3月末までに24歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する人は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、夏季に出願の場合は2025年5月14日（水）＜消印有効＞までに、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出 願 要 件
宗教思想	(1) 大学院博士前期課程もしくは修士課程修了後、2年以上神学・哲学・宗教学の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者 (2) 大学を卒業後、4年以上当該領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者で、本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力を有すると認めた者
人 類 学	(1) 大学院博士前期課程もしくは修士課程修了後、2年以上文化人類学あるいは考古学の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者 (2) 大学を卒業後、4年以上文化人類学あるいは考古学の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者で、本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力を有すると認めた者 (3) 既に博士の学位を持っている者（分野は問わない）
言語科学	(1) 大学院博士前期課程もしくは修士課程修了後、2年以上言語理論あるいは言語習得論の領域に関連する研究職あるいは教育職に従事した者 (2) 大学を卒業後、4年以上言語理論あるいは言語習得論の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者で、本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力を有すると認めた者

3. 選考方法および日時（社会人入学審査）

博士前期課程・修士課程

専攻	審査日	時間	試験科目	配点	備考
キリスト教思想	【夏季】 2025年7月12日（土） 【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	100点	研究計画書を重視する。
		10：00～11：30	小論文	100点	主たる研究領域（神学・哲学・宗教学—出願時に選択）に関する問題（英語の読解力をみる問題を含む）。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		12：30～	口述試問	100点	
人類学	【夏季】 2025年7月12日（土） 【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	100点	研究計画書を重視する。
		10：00～12：00	小論文	100点	主たる研究領域（文化人類学・考古学—出願時に選択）に関する問題（英語の読解力をみる問題を含む）。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		13：00～	口述試問	100点	
教育フアンリテーション	【夏季】 2025年7月12日（土） 【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	100点	研究計画書を重視する。
		10：00～12：00	小論文	100点	教育学・心理学・人間関係論に関する基礎知識、データ分析力、英語読解力、論述力をみる。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		13：00～	口述試問	100点	
言語科学	【夏季】 2025年7月12日（土） 【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	50点	研究計画書を重視する。
		11：15～12：15	小論文	100点	言語および言語教育に関して、これまでの教育・研究経験で培った基礎知識、論述力をみる。
		13：30～	口述試問	50点	志望する主たる研究領域が英語教育である志願者については、口述試問の一部を英語で行う。

博士後期課程

専攻	審査日	時間	選考方法	配点	備考
宗教思想	【夏季】 2025年7月12日（土） 【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	100点	提出論文および研究計画書について
		12：30～	口述試問	100点	
人類学	【夏季】 2025年7月12日（土） 【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	100点	提出論文および研究計画書について
		12：30～	口述試問	100点	
言語科学	【夏季】 2025年7月12日（土） 【春季】 2026年2月21日（土）	—	書類審査	50点	研究計画書を重視する。
		13：00～	口述試問	50点	提出論文、研究計画書の内容に加えて、これまでの教育・研究経験で培った専門領域に関する知識を問う。

4. 出願書類（社会人入学審査） ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦4cm×横3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	〈博士前期・修士課程志願者〉 出身大学等の卒業証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。 〈博士後期課程志願者〉 修士の学位取得証明書 出身大学院（修士課程・博士前期課程）等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
4	入学志願者調書	所定用紙③
5	〈博士後期課程志願者〉 志望理由書	所定用紙④
6	推薦書1通（厳封のもの） ・言語科学専攻志願者のみ（志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること）	所定用紙⑤
7	研究計画書3部（言語科学専攻は1部）（コピー可）	所定用紙⑥
8	〈博士後期課程志願者〉 論文（公刊・未公刊は問わない） ・業績（論文）のリストと、業績の抜き刷りあるいはコピーを提出してください。 ・ただし、提出された論文の扱いは専攻によって異なります。	
9	〈博士後期課程志願者〉 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑧
10	修業年限短縮願（希望者のみ）	所定用紙⑨
11	宛名シール（宛名明記）	
12	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付）	
13	入学検定料（30,000円）振込領収書 ・ATM利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑩
14	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑪
15	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	

5. 出願書類についての注意事項（社会人入学審査）

- 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
 上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
 個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
 あらかじめご了承ください。
- 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。

- (4)「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意（社会人入学審査）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書（所定用紙③）

キリスト教思想専攻、宗教思想専攻および人類学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	小論文
キリスト教思想	神学領域・哲学領域・宗教学領域のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。
宗教思想	
人類学 (博士前期課程)	文化人類学・考古学のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。
人類学 (博士後期課程)	

言語科学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	志望研究領域
言語科学 (博士前期課程)	言語学・日本語教育・英語教育のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。
言語科学 (博士後期課程)	言語理論・言語習得論から主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。

(3) 推薦書（所定用紙⑤）（言語科学専攻志願者のみ）

指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

(4) 研究計画書（所定用紙⑥）

- ・用紙が不足する場合は、コピーしてください。
- ・各専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	記 入 方 法
キリスト教思想	(1) 当該研究に対するこれまでの準備状況 (2) 今後の研究課題 (3) 博士前期課程2年間の具体的な活動計画を2,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
宗教思想	(1) 自身の研究のこれまでの進捗状況、(2) 今後の研究課題、そして(3) 博士後期課程3年間における具体的な研究計画を4,000字程度（ワープロA4）でまとめ、他の書類とともに提出すること。

人 類 学 (博士前期課程)	(1) 当該研究に対するこれまでの準備状況 (2) 今後の研究課題 (3) 博士前期課程 2 年間の具体的な活動計画を 2,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
人 類 学 (博士後期課程)	(1) 研究に対するこれまでの進捗状況 (職務経験や職務上の調査・研究の内容などを盛り込むこと)、 (2) 今後の研究課題、 (3) 博士後期課程 3 年間の具体的な活動計画を 4,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
教 育 ファシリテーション	大学院進学目的、研究計画 (準備状況も含む)、また大学院での研究と将来との関連について 2,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。なお、これまでの経歴の中で、研究計画と関連する志願者個人、もしくは志願者を含むグループがおこなった研究・実践の報告書 (著書や卒業論文、その他論文を含む) があれば添付 (各 1 部) することができる。
言 語 科 学 (博士前期課程)	大学院進学目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について日本語の場合は 2,000 字程度、英語の場合は 750 語程度でまとめる。言語科学専攻でどの領域を主に専攻していくことを考えているか、どのようなテーマでどのような研究を行う計画か、などについても言及すること。
言 語 科 学 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況 (修士または博士前期課程修了見込者についてはすでに行った調査・研究の結果などを盛り込むこと)、今後の研究課題、および博士後期課程 3 年間における具体的な研究計画を日本語の場合は 4,000 字程度、英語の場合は 1,500 語程度でまとめること。

(5) 修業年限短縮願 (所定用紙⑨)

一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期 (修士) 課程、博士後期課程ともに 1 年での修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研究科事務室までお問い合わせください。

7. その他 (社会人入学審査)

- (1) 人類学専攻 (博士後期課程) では、講義は夜間 (18:30 以降の時間帯) に、一部は夏期集中講義などとして開講します。詳細については人間文化研究科事務室にお問い合わせください。
- (2) 教育ファシリテーション専攻では、講義は夜間 (18:30 以降の時間帯) および土曜日を中心に、一部は土日の集中講義、夏期集中講義などとして開講します。詳細については人間文化研究科事務室にお問い合わせください。
- (3) 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
 - ・キリスト教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会 (Japan Educational Exchanges and Services) 実施の「日本語能力試験」N1 (旧 1 級) 程度または独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization) 実施の日本留学試験の「日本語」200 点程度の能力が必要です。
 - ・宗教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会 (Japan Educational Exchanges and Services) 実施の「日本語能力試験」N1 (旧 1 級) 程度または独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization) 実施の日本留学試験の「日本語」300 点程度の能力が必要です。

⇒その他の項目について、P. 30 以降の共通事項を参照してください。

■入学試験日程【2026 年 9 月入学】

入学時期は2026年9月です。

合格者のうち、2026年9月卒業見込者または修了見込者については内定とします。

	出願期間および入学検定料振込期間	試験日	合格発表
春季 (*)	博士前期課程・修士課程 2026年1月5日(月)～1月15日(木) 【消印有効】 博士後期課程 2026年1月5日(月)～1月21日(水) 【消印有効】	2026年2月21日(土)	2026年3月5日(木) 13:00
夏季	2026年6月5日(金)～6月15日(月) 【消印有効】	2026年7月11日(土)	2026年7月16日(木) 13:00

(*) 言語科学専攻のみ

■一般入学試験【2026 年 9 月入学】

1. 募集人員（一般入学試験）

キリスト教思想専攻（博士前期課程） 若干名

社会人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

宗教思想専攻（博士後期課程） 若干名

社会人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

人類学専攻（博士前期課程） 若干名

社会人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

人類学専攻（博士後期課程） 若干名

社会人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

教育ファシリテーション専攻（修士課程） 若干名

他に、社会人入学審査（約7、8名）の募集がある。

言語科学専攻（博士前期課程） 若干名

社会人入学審査（若干名）、南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

言語科学専攻（博士後期課程） 若干名

社会人入学審査（若干名）、南山大学外国人留学生別科留学生推薦入学審査（若干名）、国内在住外国人入学審査（若干名）および国外在住者入学審査（若干名）の募集人員を含む。

2. 出願資格（一般入学試験）

次のいずれかに該当する者または2026年9月までに該当見込みの者とする。ただし、外国籍の者が夏季試験に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程・修士課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年8月末までに22歳に達している者

〔注〕出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

言語科学専攻の言語能力に関する出願要件

次の a, b いずれかの条件を満たす者

a	日本語教育領域を専攻するか、あるいは日本語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1（旧1級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』360点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 （*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要） ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読む能力があること
b	英語で修士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までにTOEFL-iBTで100点以上、またはIELTSで7.5以上のスコアを取得していること（*ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要） 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2（旧2級）、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1)で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 （*ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要）

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、2026年8月末までに24歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者が該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」(所定用紙Ⅰ)を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日(水)〈消印有効〉までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日(水)〈消印有効〉までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書(厳封)を必ず同封してください。

言語科学専攻の言語能力に関する出願要件

次の a, b いずれかの条件を満たす者

a	言語習得論領域で日本語教育を専攻するか、あるいは日本語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N1 (旧1級)、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』380点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 (※ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要) ・日本語で論文やレポートを書く能力があること 〔英語について〕 ・英語で学術文献を読みこなす高度な能力があることを以下のいずれかの方法で示すこと。 1) 英語の学術論文の読解力を有することについての説明とそれを裏付けるもの(例えば、複数の英語文献を先行研究として要約して論じた修士論文) 2) 英語試験(読解)の結果(例えば、IELTS (reading) 6以上、または、TOEFL-iBT (reading) 30点中18点以上、英検準1級以上)を満たしていること(ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要)
b	英語で博士論文を執筆しようとする志願者は次の語学能力条件をいずれも満たさなければならない。 〔英語について〕 ・出願時までに TOEFL-iBT で 100 点以上、または IELTS で 7.5 以上のスコアを取得していること(※ただし、主に英語で授業を開講するカリキュラムや、英語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は英語能力の証明書の提出は不要) 〔日本語について〕 ・日本語能力について以下のいずれかの方法で示すこと 1) 出願時までに公益財団法人日本国際教育支援協会実施の「日本語能力試験」N2 (旧2級)、または独立行政法人日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の『日本語』300点以上を満たしていること 2) 出願時に日本語教育指導を受ける教育機関の担当者による、日本語能力が1) で示された能力に相当するかそれ以上であることを証する評価書 (※ただし、主に日本語で授業を開講するカリキュラムや、日本語での論文による学位取得などを行う学部・大学院を卒業した者および卒業見込みの者は日本語能力の証明書や評価書の提出は不要)

3. 試験科目および日時（一般入学試験）

博士前期課程・修士課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
キリスト教思想	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	
		10:00～11:30	基礎知識に関する筆記試験	100点	神学・哲学・宗教学から1領域を出願時に選択
		12:30～14:00	外国語に関する筆記試験	100点	英語・独語・仏語のうちいずれかを出願時に選択 辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		15:00～	口述試問	100点	
人類学	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	
		10:00～11:30	基礎知識に関する筆記試験	100点	文化人類学・考古学から1領域を出願時に選択
		12:30～14:00	外国語に関する筆記試験	100点	英語・西語・中国語・日本語のうちいずれかを出願時に選択（ただし、日本語を第一言語としない志願者は「日本語」で受験すること） 辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		15:00～	口述試問	100点	
教育フアシリテーション	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	
		10:00～12:00	小論文	100点	教育学・心理学・人間関係論に関する基礎知識、データ分析力、英語読解力、論述力をみる。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		13:00～	口述試問	100点	
言語科学	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	50点	研究計画書を重視する。
		10:00～11:00	英文資料を基に解答する科目	50点	言語に関する一般的な内容の英文資料を読んで解答する。 辞書持ち込み不可
		11:15～12:15	専門領域に関する論述試験	50点	言語学、日本語教育、英語教育の各領域から出題される問題の中から選択して解答する。 主に各領域の基礎的知識および論述力をみる。
		13:30～	口述試問	50点	志望する主たる研究領域が英語教育である志願者については、口述試問の一部を英語で行う。

博士後期課程

専攻	試験日	時間	試験科目	配点	備考
宗 教 思 想	【夏季】 2026 年 7 月 11 日 (土)	—	書類審査	100 点	
		10 : 00 ～11 : 30	専門領域に関する 筆記試験	100 点	神学・哲学・宗教学から 1 領域を出願時に選択
		12 : 30 ～14 : 00	外国語に関する 筆記試験	各 50 点 合計 100 点	神学領域志願者：古典語（ヘブライ語・ギリシヤ語・ラテン語のうち 1 つ）と英語・独語・仏語のうち 1 つの計 2 つを出願時に選択 哲学領域志願者：古典語（ギリシヤ語・ラテン語のうち 1 つ）と英語・独語・仏語のうち 1 つの計 2 つを出願時に選択 宗教学領域志願者：英語 1・英語 2・独語・仏語のうちから計 2 つを出願時に選択 辞書持ち込み可 （逆引辞書不可、電子辞書不可）
		15 : 00～	専門領域に関する 口述試問	100 点	提出された論文は、その内容を再審査をするものではありません。
人 類 学	【夏季】 2026 年 7 月 11 日 (土)	—	書類審査	100 点	
		10 : 00 ～11 : 30	専門領域に関する 筆記試験	100 点	文化人類学・考古学から 1 領域を出願時に選択
		12 : 30 ～14 : 00	外国語（英語）に 関する筆記試験	100 点	文化人類学・考古学から 1 領域を出願時に選択 辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		15 : 00～	専門領域に関する 口述試問	100 点	
言 語 科 学	【春季】 2026 年 2 月 21 日 (土)	—	書類審査	50 点	研究計画書を重視する。
	【夏季】 2026 年 7 月 11 日 (土)	13 : 00～	口述試問	50 点	提出論文、研究計画書の内容に加えて、言語理論または言語習得論に関する知識を問う。

4. 出願書類（一般入学試験） ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦 4cm×横 3cm） 裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	<博士前期・修士課程志願者> 出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。 <博士後期課程志願者> 修士の学位取得証明書または取得見込証明書 出身大学院（修士課程・博士前期課程）等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
4	入学志願者調書	所定用紙③
5	志望理由書	所定用紙④
6	推薦書 1 通（厳封のもの） ・教育ファシリテーション専攻志願者は除く（志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること）	所定用紙⑤
7	<博士後期課程志願者> 論文（公刊・未公刊は問わない） ・修士論文を書き終わっている場合は、修士論文のコピーを提出してください。 ・修士論文以外の業績（論文）がある場合は、その抜き刷りあるいはコピーも提出してください。 ・ただし、提出された論文の扱いは、専攻によって異なります。	
8	研究計画書 3 部（言語科学専攻は 1 部）（コピー可）	所定用紙⑥
9	語学能力証明書【言語科学専攻】 ・出願資格「専攻の出願要件」を満たしていることを確認できる証明書を添付してください。	所定用紙⑦
10	<博士後期課程志願者> 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑧
11	修業年限短縮願（希望者のみ）	所定用紙⑨
12	宛名シール（宛名明記）	
13	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付）	
14	入学検定料（30,000 円）振込領収書 ・ATM 利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑩
15	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑪
16	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	

5. 出願書類についての注意事項（一般入学試験）

- 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。
個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が 1 部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出し

てください。

- (4)「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類3（証明書等）の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意（一般入学試験）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および可否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書（所定用紙③）

キリスト教思想専攻、宗教思想専攻および人類学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	基礎知識に関する筆記試験	外国語に関する筆記試験
キリスト教思想		英語・独語・仏語のうち1科目を○で囲む。
宗教思想	神学領域・哲学領域・宗教学領域のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	各領域で、指定している外国語のうちから2科目を選択して○で囲む。 神学領域：古典語（ヘブライ語・ギリシャ語・ラテン語のうち1つ）と英語・独語・仏語のうち1つを選択。 哲学領域：古典語（ギリシャ語・ラテン語のうち1つ）と英語・独語・仏語のうち1つを選択。 宗教学領域：英語1・英語2・独語・仏語のうちから計2つを選択。
人類学 （博士前期課程）	文化人類学・考古学のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	英語・西語・中国語・日本語のうち1科目を○で囲む。（ただし、日本語を第一言語としない志願者は日本語を○で囲むこと。）
人類学 （博士後期課程）		英語〔文化人類学・考古学〕から主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。

言語科学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	志望研究領域	備考
言語科学 （博士前期課程）	言語学・日本語教育・英語教育のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	ただし、筆記試験では志望研究領域とは別の領域の問題を選択してもよい。
言語科学 （博士後期課程）	言語理論・言語習得論から主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。	

(3) 推薦書（所定用紙⑤）

指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

(4) 研究計画書（所定用紙⑥）

- ・用紙が不足する場合は、コピーしてください。
- ・各専攻における記入方法は次表によること。

専 攻	記 入 方 法
キリスト教思想	(1)当該研究に対するこれまでの準備状況 (2)今後の研究課題 (3)博士前期課程 2 年間の具体的な活動計画を 2,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
宗教思想	(1)自身の研究のこれまでの進捗状況、(2)今後の研究課題、そして(3)博士後期課程 3 年間における具体的な研究計画を 4,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめ、他の書類とともに提出すること。
人 類 学 (博士前期課程)	(1)当該研究に対するこれまでの準備状況 (2)今後の研究課題 (3)博士前期課程 2 年間の具体的な活動計画を 2,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
人 類 学 (博士後期課程)	(1)当該研究に対するこれまでの進捗状況〔修士 (博士前期)課程修了見込者については、既に行った調査・研究の結果などを盛り込むこと〕。(2)今後の研究課題 (3)博士後期課程 3 年間の具体的な活動計画を 4,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
教育 ファシリテーション	大学院進学目的、研究計画 (準備状況も含む)、また大学院での研究と将来との関連について 2,000 字程度 (ワープロ A4) でまとめること。なお、これまでの経歴の中で、研究計画と関連する志願者個人、もしくは志願者を含むグループがおこなった研究・実践の報告書 (著書や卒業論文、その他論文を含む) があれば添付 (各 1 部) することができる。大学卒業見込の者は、進行中の研究計画書を添付することもできる (「志望理由書: 卒業論文 (または修士論文) の題名および要旨」欄には記入不要。別途任意のものを添付すること)。
言 語 科 学 (博士前期課程)	大学院進学目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について日本語の場合は 2,000 字程度、英語の場合は 750 語程度でまとめる。言語科学専攻でどの領域を主に専攻していくことを考えているか、どのようなテーマでどのような研究を行う計画か、などについても言及すること。
言 語 科 学 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況 (修士または博士前期課程修了見込者についてはすでに行った調査・研究の結果などを盛り込むこと)、今後の研究課題、および博士後期課程 3 年間における具体的な研究計画を日本語の場合は 4,000 字程度、英語の場合は 1,500 語程度でまとめること。

(5) 修業年限短縮願 (所定用紙⑨)

一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期 (修士) 課程、博士後期課程ともに 1 年での修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研究科事務室までお問い合わせください。

7. その他 (一般入学試験)

- 教育ファシリテーション専攻では、講義は夜間 (18:30 以降の時間帯) および土曜日を中心に、一部は土日の集中講義、夏期集中講義などとして開講します。詳細については人間文化研究科事務室にお問い合わせください。
- 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
 - キリスト教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会 (Japan Educational Exchanges and Services) 実施の「日本語能力試験」N 1 (旧 1 級) 程度または独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization) 実施の日本留学試験の「日本語」200 点程度の能力が必要です。
 - 宗教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会 (Japan Educational Exchanges and Services) 実施の「日本語能力試験」N 1 (旧 1 級) 程度または独立行政法人日本学生支援機構 (Japan Student Services Organization) 実施の日本留学試験の「日本語」300 点程度の能力が必要です。

⇒その他の項目について、P. 30 以降の共通事項を参照してください。

■社会人入学審査【2026 年 9 月入学】

1. 募集人員（社会人入学審査）

キリスト教思想専攻（博士前期課程）	若干名
宗教思想専攻（博士後期課程）	若干名
人類学専攻（博士前期課程）	若干名
人類学専攻（博士後期課程）	若干名
教育ファシリテーション専攻（修士課程）	若干名
言語科学専攻（博士前期課程）	若干名
言語科学専攻（博士後期課程）	若干名

2. 出願資格（社会人入学審査）

次のいずれかに該当する者で、かつ、2026年9月までに各専攻の示す要件を満たす者。ただし、外国籍の者が夏季審査に出願する場合は、出願時に就学可能な在留資格を有していることを条件とする。さらに、その在留期限が入学手続期間最終日の翌日以降であることを条件とする。

博士前期課程・修士課程

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者

〔注〕出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、春季に出願の場合は2025年11月5日（水）＜消印有効＞までに、夏季に出願の場合は2026年5月13日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出 願 要 件
キリスト教思想	2026年8月末までに25歳に達している者で、大学（外国の大学を含む）等にて神学・哲学・宗教学の基礎を学び、卒業後3年以上経過している者、または、大学卒業後3年以上経過し、その間に本学にて科目等履修生または研修生として1年以上神学・哲学・宗教学の基礎を学んだ者

人 類 学	(1) 大学（外国の大学を含む）卒業後２年以上経過しており、かつ文化人類学あるいは考古学の基礎を学んだ者 (2) 個別の入学資格審査を希望する者については、２０２６年８月末までに２５歳に達している者で、３年以上の社会人経験（特定の職業に従事、各種非常勤職、ボランティアなど、問題意識を育んだ領域で継続的に活動していること）を有する者
教育 ファンリテーション	(1) 大学卒業後３年以上の社会人経験（特定の職業に従事、各種非常勤職、ボランティアなど、問題意識を育んだ領域で継続的に活動していること）を有する者 (2) 個別の入学資格審査を希望する者については、２０２６年８月末までに２５歳に達している者で、３年以上の社会人経験（特定の職業に従事、各種非常勤職、ボランティアなど、問題意識を育んだ領域で継続的に活動していること）を有する者
言 語 科 学	(1) 大学卒業後２年以上言語教育あるいは言語研究に携わった者（非常勤可） (2) 個別の入学資格審査を希望する者については、２０２６年８月末までに２５歳に達している者で、２年以上言語教育あるいは言語研究に携わった者（非常勤可）

博士後期課程

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者、２０２６年８月末までに２４歳に達している者

〔注〕出願資格(6)については、大学の卒業者または大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者などが該当します。「個別の入学資格審査」を希望する場合は、本学入学センターへ個別審査に係わる書類「略歴書」（所定用紙Ⅰ）を請求して、春季に受験の場合は２０２５年１１月５日（水）＜消印有効＞までに、夏季に受験の場合は２０２６年５月１３日（水）＜消印有効＞までに、封筒の表に「個別審査書類在中」と明記して郵送にて提出してください。その際、学歴に関する証明書および成績証明書（厳封のもの）を必ず同封してください。

各専攻の出願要件

専 攻	出 願 資 格
宗教思想	(1) 大学院博士前期課程もしくは修士課程修了後、２年以上神学・哲学・宗教学の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者 (2) 大学を卒業後、４年以上当該領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者で、本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力を有すると認めた者
人 類 学	(1) 大学院博士前期課程もしくは修士課程修了後、２年以上文化人類学あるいは考古学の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者 (2) 大学を卒業後、４年以上文化人類学あるいは考古学の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者で、本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力を有すると認めた者 (3) 既に博士の学位を持っている者（分野は問わない）
言語科学	(1) 大学院博士前期課程もしくは修士課程修了後、２年以上言語理論あるいは言語習得論の領域に関連する研究職あるいは教育職に従事した者 (2) 大学を卒業後、４年以上言語理論あるいは言語習得論の領域に関連する専門職あるいは研究に従事した者で、本学大学院人間文化研究科において、個別の入学資格審査により、上記(1)と同等以上の学力を有すると認めた者

3. 選考方法および日時（社会人入学審査）

博士前期課程・修士課程

専攻	審査日	時間	試験科目	配点	備考
キリスト教思想	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	研究計画書を重視する。
		10:00～11:30	小論文	100点	主たる研究領域（神学・哲学・宗教学—出願時に選択）に関する問題（英語の読解力をみる問題を含む）。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		12:30～	口述試問	100点	
人類学	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	研究計画書を重視する。
		10:00～12:00	小論文	100点	主たる研究領域（文化人類学・考古学—出願時に選択）に関する問題（英語の読解力をみる問題を含む）。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		13:00～	口述試問	100点	
教育フシリテーション	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	研究計画書を重視する。
		10:00～12:00	小論文	100点	教育学・心理学・人間関係論に関する基礎知識、データ分析力、英語読解力、論述力をみる。 英和辞書持ち込み可（電子辞書不可）
		13:00～	口述試問	100点	
言語科学	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	50点	研究計画書を重視する。
		11:15～12:15	小論文	100点	言語および言語教育に関して、これまでの教育・研究経験で培った基礎知識、論述力をみる。
		13:30～	口述試問	50点	志望する主たる研究領域が英語教育である志願者については、口述試問の一部を英語で行う。

博士後期課程

専攻	審査日	時間	選考方法	配点	備考
宗教思想	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	提出論文および研究計画書について
		12:30～	口述試問	100点	
人類学	【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	100点	提出論文および研究計画書について
		12:30～	口述試問	100点	
言語科学	【春季】 2026年2月21日(土) 【夏季】 2026年7月11日(土)	—	書類審査	50点	研究計画書を重視する。
		13:00～	口述試問	50点	提出論文、研究計画書の内容に加えて、これまでの教育・研究経験で培った専門領域に関する知識を問う。

4. 出願書類（社会人入学審査） ※所定用紙（PDF、Word）は本学 Web ページよりダウンロード可能です。

1	入学志願票	所定用紙①
2	写真票 ・出願前 3 か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真（縦 4cm×横 3cm）裏面に研究科・専攻名および志願者名を記入後、貼付すること。	所定用紙②
3	〈博士前期・修士課程志願者〉 出身大学等の卒業証明書 出身大学等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の学部・大学院を卒業・修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学等の成績証明書も提出してください。 〈博士後期課程志願者〉 修士の学位取得証明書 出身大学院（修士課程・博士前期課程）等の成績証明書（厳封のもの） ・複数の大学院を修了された方は、そのすべての証明書を提出してください。 ・成績証明書に認定単位がある場合は、その科目を履修した大学院等の成績証明書も提出してください。	
4	入学志願者調書	所定用紙③
5	〈博士後期課程志願者〉志望理由書	所定用紙④
6	推薦書 1 通（厳封のもの） ・言語科学専攻志願者のみ（志願者の人物、学力をよく知る方に依頼すること）	所定用紙⑤
7	研究計画書 3 部（言語科学専攻は 1 部）（コピー可）	所定用紙⑥
8	〈博士後期課程志願者〉 論文（公刊・未公刊は問わない） ・業績（論文）のリストと、業績の抜き刷りあるいはコピーを提出してください。 ・ただし、提出された論文の扱いは専攻によって異なります。	
9	〈博士後期課程志願者〉 南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書	所定用紙⑧
10	修業年限短縮願（希望者のみ）	所定用紙⑨
11	宛名シール（宛名明記）	
12	受験票返送用封筒（宛名明記、定形郵便速達料金分の切手貼付）	
13	入学検定料（30,000 円）振込領収書 ・ATM 利用の場合は、利用明細のコピー可	所定用紙⑩
14	留学費支払能力に関する証明書【日本国籍以外の方のみ（定住者・永住者を除く）】 ・最低預貯金残高…初年度学生納入金相当額	所定用紙⑪
15	パスポートの写し【日本国籍以外の方のみ】 ・氏名の記載頁、在留資格のある方は在留カードの写しも提出してください。	

5. 出願書類についての注意事項（社会人入学審査）

- 出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は入学試験実施、合格発表、入学手続とこれらに付随する事項、また入学後の指導上の参考資料として利用します。
上記の業務は、その一部を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「委託業者」）において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。個人が特定できないように統計処理した個人情報データは、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用されます。
あらかじめご了承ください。
- 出願書類として健康診断書は不要です。健康診断は入学後に本学で行います。
- 出願書類が日本語・英語以外の場合は、公的機関等で作成した和訳または英訳を添えてください。提出書類で原本が 1 部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を受けた後、提出してください。
- 「個別の入学資格審査」で「可」とされた場合には、出願書類 3（証明書等）の提出は不要です。ただし、審査通知書のコピーを同封してください。

6. 出願書類記入上の注意（社会人入学審査）

手書きの場合は、黒か青の万年筆またはボールペンで、楷書でていねいに記入してください。ワープロ使用も可能です。なお、所定用紙については、本学 Web ページからダウンロードすることもできます。

(1) 入学志願票（所定用紙①）

- ・婚姻等で改姓され、各種証明書等に記載されている姓と出願時の姓とが一致しない場合は、戸籍抄本等、改姓の記載のある書類を提出してください。
- ・住所は、出願から入学手続までの期間の連絡先（受験票および合否通知書の郵送先等）として使用しますので、本人と確実に連絡のとれる場所にしてください。
- ・海外在住者は必ず日本国内の連絡先（例えば親戚・知人の住所）とし「〇〇方」を忘れずに記入してください。

(2) 入学志願者調書（所定用紙③）

キリスト教思想専攻、宗教思想専攻および人類学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	小論文
キリスト教思想	神学領域・哲学領域・宗教学領域のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。
宗教思想	
人類学 （博士前期課程）	文化人類学・考古学のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。
人類学 （博士後期課程）	

言語科学専攻における記入方法は次表にしたがってください。

専 攻	志望研究領域
言語科学 （博士前期課程）	言語学・日本語教育・英語教育のうち主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。
言語科学 （博士後期課程）	言語理論・言語習得論から主たる研究領域として選択する領域を○で囲む。

(3) 推薦書（所定用紙⑤）（言語科学専攻志願者のみ）

指導教授（もしくはそれに類する立場の教員、志願者をよく知る教員など）に直接記入してもらってください。

(4) 研究計画書（所定用紙⑥）

- ・用紙が不足する場合は、コピーしてください。
- ・各専攻における記入方法は次表によること。

専 攻	記 入 方 法
キリスト教思想	(1) 当該研究に対するこれまでの準備状況 (2) 今後の研究課題 (3) 博士前期課程 2 年間の具体的な活動計画を 2,000 字程度（ワープロ A4）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
宗教思想	(1) 自身の研究のこれまでの進捗状況、(2) 今後の研究課題、そして (3) 博士後期課程 3 年間における具体的な研究計画を 4,000 字程度（ワープロ A4）でまとめ、他の書類とともに提出すること。
人類学 （博士前期課程）	(1) 当該研究に対するこれまでの準備状況 (2) 今後の研究課題 (3) 博士前期課程 2 年間の具体的な活動計画を 2,000 字程度（ワープロ A4）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。

人 類 学 (博士後期課程)	(1) 研究に対するこれまでの進捗状況（職務経験や職務上の調査・研究の内容などを盛り込むこと）、 (2) 今後の研究課題、 (3) 博士後期課程 3 年間の具体的な活動計画を 4,000 字程度（ワープロ A4） でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。
教育 ファシリテーション	大学院進学目的、研究計画（準備状況も含む）、また大学院での研究と将来との関連について 2,000 字程度（ワープロ A4）でまとめ、他の出願書類とともに提出すること。なお、これまでの経歴の中 で、研究計画と関連する志願者個人、もしくは志願者を含むグループがおこなった研究・実践の報 告書（著書や卒業論文、その他論文を含む）があれば添付（各 1 部）することができる。
言 語 科 学 (博士前期課程)	大学院進学目的、これまでの準備状況、また大学院での研究と将来の職業との関連について日本 語の場合は 2,000 字程度、英語の場合は 750 語程度でまとめる。言語科学専攻でどの領域を主に専 攻していくことを考えているか、どのようなテーマでどのような研究を行う計画か、などについて も言及すること。
言 語 科 学 (博士後期課程)	自身の研究のこれまでの進捗状況（修士または博士前期課程修了見込者についてはすでに行った調 査・研究の結果などを盛り込むこと）、今後の研究課題、および博士後期課程 3 年における具体的 な研究計画を日本語の場合は 4,000 字程度、英語の場合は 1,500 語程度でまとめること。

(5) 修業年限短縮願（所定用紙⑨）

一定の要件を満たすと、修業年限を短縮できる場合があります。博士前期（修士）課程、博士後期課程ともに 1 年で
の修了を希望する場合は、出願時に「修業年限短縮願」を必要書類とともに提出してください。ただし、修業年限の
短縮が認められたとしても、希望の年限での学位取得を保証するものではありません。詳細については、人間文化研
究科事務室までお問い合わせください。

7. その他（社会人入学審査）

- (1) 人類学専攻（博士後期課程）では、講義は夜間（18：30 以降の時間帯）に、一部は夏期集中講義などとして開講し
ます。詳細については人間文化研究科事務室にお問い合わせください。
- (2) 教育ファシリテーション専攻では、講義は夜間（18：30 以降の時間帯）および土曜日を中心に、一部は土日の集中
講義、夏期集中講義などとして開講します。詳細については人間文化研究科事務室にお問い合わせください。
- (3) 日本語を第一言語としない方の日本語能力の目安について
 - ・キリスト教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational
Exchanges and Services）実施の「日本語能力試験」N1（旧 1 級）程度または独立行政法人日本学生支援機構
（Japan Student Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」200 点程度の能力が必要です。
 - ・宗教思想専攻の授業を履修するためには、公益財団法人日本国際教育支援協会（Japan Educational Exchanges and
Services）実施の「日本語能力試験」N1（旧 1 級）程度または独立行政法人日本学生支援機構（Japan Student
Services Organization）実施の日本留学試験の「日本語」300 点程度の能力が必要です。

⇒ その他の項目について、P. 30 以降の共通事項を参照してください。

■ 共通事項【2026 年 4 月入学・2026 年 9 月入学】

1. 入学検定料

30,000 円

- (1) 振込期間 → P.2 (2026 年 4 月入学)、P.16 (2026 年 9 月入学) に記載
- (2) 下記銀行口座に「電信」扱いで振り込んでください。
- (3) 振込領収書のコピーを所定用紙⑩に貼付し、出願書類とともに提出してください。
- (4) 振込手数料は各自で負担してください。
- (5) 現金、為替等での出願は受け付けません。

送 り 先	三菱UFJ 銀行 八事支店 普通預金
口 座 番 号	1 6 4 9 6 4 6
口 座 名	ガク) ナンザンガクエン 学) 南山学園

2. 出願方法（郵送に限ります）

- (1) 出願期間 → P.2 (2026 年 4 月入学)、P.16 (2026 年 9 月入学) に記載
- (2) 出願書類を市販の角型 2 号サイズの封筒に入れて「簡易書留速達郵便」で送付してください。
なお、封筒の表には必要事項を記入した所定のラベルを貼付してください。所定のラベルは、本学 Web ページよりダウンロードすることもできます。
- (3) 提出された出願書類に不備があった場合、本学から E-mail・電話等により連絡します。出願書類に不備があり、出願期間内に解消されない場合は、出願を受理できないことがあります。
- (4) 一旦提出された出願書類および入学検定料は原則として返還しません。
- (5) 身体に障がいや有する志願者で、試験において受験上の特別な措置を希望する場合は、出願に先立って、できるだけ早期に本学入学センターに連絡してください。

3. 受験票の受け取り

受験票が以下の日を過ぎても未着の場合のみ、入学センターに連絡してください。

【2026 年 4 月入学】

夏季試験（審査）	2025 年 7 月 8 日（火）
春季試験（審査）	2026 年 2 月 10 日（火）

【2026 年 9 月入学】

春季試験（審査）	2026 年 2 月 10 日（火）
夏季試験（審査）	2026 年 6 月 30 日（火）

日本国外から出願された方には、入学志願票に記載されたメールアドレスに PDF ファイルでお送りします。

4. 試験場

南山大学 名古屋市昭和区山里町 1 8 番地

5. 試験当日の注意事項

- (1) 試験会場は 9:00 に開場します。
- (2) 受験票を忘れたり、紛失したりした場合は、係員に申し出てください。
- (3) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。携帯電話等の通信機能や辞書機能を持つ物を時計として使用することはできません。

6. 筆記試験について

- (1) 当日は、試験開始 15 分前までに所定の試験室に入室し着席してください。
- (2) 試験終了後は、監督者が解答用紙を全部回収し、確認が終わるまで席を立たないでください。
- (3) 試験開始後 20 分以上遅刻した者は、口述試問を含むその後の試験科目を受験できません。
- (4) 試験室に入室してから試験終了までは退室を認めません。
- (5) 試験室では、すべて監督者の指示に従ってください。
- (6) 試験時間中、受験票は常に机の上に置いてください。

7. 口述試問について

- (1) 口述試問室・時間は当日配付の書類で指示します。
- (2) 口述試問の開始時刻から 20 分以上遅刻した者は、受験できません。

8. 合格発表

- (1) 合格発表日 → P. 2 (2026 年 4 月入学)、P. 16 (2026 年 9 月入学) に記載
- (2) 合格者の受験番号を、本学 Web ページに掲載します。(https://www.nanzan-u.ac.jp/)
- (3) 合格発表当日、可否通知書を郵送します。合格発表後に発送しますので、地域によっては到着まで 2~3 日かかる場合もあります。なお、合格者には、入学手続書類を同封します。
- (4) 郵便、電話、E-mail 等による問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

- (1) 入学手続期間

【2026年4月入学】

手続方法		手続期間 【消印有効】	
甲方式	一括納入方法 入学手続時納入金全額	【夏季】2025 年 7 月 18 日(金)~7 月 24 日(木) 【春季】2026 年 3 月 6 日(金)~3 月 13 日(金)	
乙方式 (夏季のみ)	分割納入方法 第 1 次：入学金および入学手続延期手数料 第 2 次：入学金を除いた学生納入金	第 1 次	2025 年 7 月 18 日(金)~7 月 24 日(木)
		第 2 次	2026 年 3 月 6 日(金)~3 月 13 日(金)

【2026年9月入学】

手続方法		手続期間 【消印有効】	
甲方式	一括納入方法 入学手続時納入金全額	【春季】2026 年 3 月 6 日(金)~3 月 13 日(金) 【夏季】2026 年 7 月 24 日(金)~7 月 30 日(木)	
乙方式 (春季のみ)	分割納入方法 第 1 次：入学金および入学手続延期手数料 第 2 次：入学金を除いた学生納入金	第 1 次	2026 年 3 月 6 日(金)~3 月 13 日(金)
		第 2 次	2026 年 7 月 24 日(金)~7 月 30 日(木)

- (2) 所定の期間内に「授業料その他の納入金の納入」と「Web フォーム入力」「必要書類の提出」を完了する必要があります。詳細は合格者にご案内する「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。
- (3) 所定の期間内に手続を行わなかった者は、入学資格を失います。
- (4) 在留資格認定証明書交付申請が必要な方は、入学手続が完了してからでないと手続が行えませんので、ご注意ください。
- (5) 入学手続の際に必要な納入金は次のとおりです。入学手続を乙方式でされる場合は、第 1 次手続時に入学金の他に入学手続延期手数料 33,000 円が必要です。

[一般入学試験] [社会人入学審査] (単位：円)

納入金	入学手続時納入金
入 学 金	300,000
授 業 料 (半期分)	287,000
施 設 設 備 費 (半期分)	52,500
合 計	639,500 *1 *2

*1 上表以外に、同窓会関係の諸費を必要とします。入学手続時の納入金額については、合格者にご案内する「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。

*2 日本国外から送金する場合は、上記金額に海外送金銀行取り扱い手数料として 3,000 円を加えた額を振り込んでください。

- ・ 本学卒業者等の合格者については、入学後、入学金相当額の奨学金が給付されます。
- ・ 外国人学生のうち、カトリック系修道会等所属学生または、私費外国人留学生と認定された場合には、授業料および施設設備費の 2 分の 1 が減免されます。
- ・ 各種減免制度の対象となる場合、入学手続時に申請書等の必要書類を提出してください。詳細は「入学手続案内」Web ページをご確認ください。
- ・ 博士前期課程または修士課程において、南山大学大学院学則第 69 条第 1 項により、1 年で修了する者の初年度授業料は上記の 1.5 倍です。ただし、1 年で修了しない場合の 2 年目の授業料は上記の 0.5 倍となります。
- ・ 博士後期課程において、授業料等の支援（減免）を行う制度があります。後述の「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」を参照してください。
- ・ 修士課程、博士前期課程、および、専門職学位課程において、日本学生支援機構による授業料後払い制度（貸与奨学金）があります。後述の「【修士・博士前期・専門職学位課程】日本学生支援機構奨学金授業料後払い制度」を参照してください。

一旦提出された書類および入学金（入学手続延期手数料を含む）は、いかなる理由があっても返還しませんのでご注意ください。

なお、入学手続後に入学を辞退されるときは、2026 年 4 月入学の場合は 2026 年 3 月 31 日（火）〈必着〉までに、2026 年 9 月入学の場合は 2026 年 9 月 11 日（金）〈必着〉までに、本人および保証人連名の文書で返還請求があった場合に限り、納入金のうち入学金（入学手続延期手数料を含む）以外の授業料、施設設備費等を返還します。詳細については、「入学手続案内」Web ページにてご確認ください。

10. 入学試験に関する個人情報開示

大学院入学試験受験者に係る個人情報開示について、受験者本人から請求があった場合に限り開示します。開示を希望する方は、次の要領でお申込みください。

(1) 申請者

受験者本人に限ります。（代理人による申請は不可）

(2) 申込方法

次の書類等を封筒に入れ、表面に「入試成績開示請求」と朱書きして、「簡易書留郵便」で本学入学センター宛に送付してください。

ア. 南山大学大学院入学試験に係る個人情報開示請求書（様式 1）：本学 Web ページよりダウンロード

イ. 開示を希望する入学試験受験票：コピー不可。個人情報開示書とともに返送します。

ウ. 開示手数料：定額小為替 500 円分

(3) 受験時と住所が異なる場合

住民票の写しを同封してください。

(4) 書類の送付・お問い合わせ先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地 南山大学入学センター

Phone : 052-832-3119

Fax : 052-832-3592

E-mail : ml-grad@nanzan-u.ac.jp

1 1. 南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度

博士後期課程に在学する学生を対象に、授業料等を減免し、博士の学位取得を支援することを目的とした「南山大学大学院博士後期課程奨学支援制度」があります。

出願時に所定用紙「南山大学大学院博士後期課程奨学支援申請書」を提出した場合、入学試験合格者に対し、本奨学支援の資格の有無を審査します。奨学支援の資格有と認められた場合は、授業料等の減免を受けることができます。審査結果は、入学試験の合格通知書と合わせて通知します。

＜制度の概要＞

支 援 内 容 : 授業料および施設設備費の半額を減免する

支 援 期 間 : 1年間

＊ただし、同様の手続を行うことにより、翌年も引き続き支援を受けることが可能
(年度毎に審査有)

審 査 : 申請に基づき、所属する研究科の研究科委員会において、博士の学位取得への意志を確認すると同時に研究計画および研究業績を測り、支援(減免)の資格の有無を決定する
＊審査において、出願時に提出した書類(研究計画書等)を使用

1 2. 【修士・博士前期・専門職学位課程】日本学生支援機構奨学金授業料後払い制度

修士・博士前期・専門職学位課程の学生を対象に、在学中の授業料を国が立て替え、返還は大学院修了後の所得に応じた「後払い」とする制度があります。本制度の利用者については、入学手続時に納入すべき学期分の授業料の全額または一部を猶予します。

制度の詳細や申請方法、申請期日については、学生課 Web ページ (<https://office.nanzan-u.ac.jp/student-services/>) をご覧いただくとともに、本制度の利用を希望される方は、お早めに学生課(052-832-3118)までお問い合わせください。

1 3. 入学試験参考図書リスト

・キリスト教思想専攻

以下のような図書を参考に勉強しておくことを勧めます。なお、この中から出題されるということではありません。

〔神学領域〕

アリストアー・E・マクグラス著、芳賀力訳『神学のよろこび-はじめての人のための「キリスト教神学」ガイド』
(キリスト教新聞社)

ヤロスラフ・ペリカン『キリスト教の伝統 教理発展の歴史』全5巻(教文館)

水垣涉他編『キリスト論論争史』(日本キリスト教団出版局)

南山大学監修『第2バチカン公会議公文書全集』(サンパウロ)

新要理書編纂特別委員会『カトリック教会の教え』(カトリック中央協議会)

カール・ラーナー『キリスト教とは何か』(エンデルレ書店)

新カトリック大事典編纂委員会編『新カトリック大事典』全4巻(研究社)

大貫隆他編『岩波キリスト教辞典』(岩波書店)

〔哲学領域〕

テレンス・アーウィン『西洋古典思想 古代ギリシア・ローマの哲学思想』(東海大学出版会)

井上忠・山本巍編『ギリシャ哲学の最前線』(東京大学出版会)

G・S・カーク他著『ソクラテス以前の哲学者たち』(京都大学学術出版会)

藤沢令夫『イデアと世界-哲学の基本問題-』(岩波書店)

岩田靖夫『アリストテレスの倫理思想』(岩波書店)

熊野純彦『西洋哲学史』(古代から中世へ) および (近代から現代へ) (岩波新書)

トマス・アクィナス『神学大全』(山田晶 訳)「世界の名著 続5」(中央公論社)

アラン・ド・リベラ『中世哲学史』(新評論)

中川純男責任編集『哲学の歴史〈第3巻〉神との対話・中世』(中央公論新社)

ルネ・デカルト『方法序説』(岩波文庫)

イマヌエル・カント『道徳形而上学の基礎づけ』(光文社古典新訳文庫)

熊野純彦『日本哲学小史』(中公新書)

マルティン・ハイデッガー 『「ヒューマニズム」について』（ちくま学芸文庫）
アクセル・ホネット 『正義の他者』（法政大学出版局）

〔宗教学領域〕

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）
棚次正和・山中弘編著『宗教学入門』（ミネルヴァ書房）
島菌進他編『宗教学キーワード』（有斐閣）
ミルチア・エリアーデ『世界宗教史』1～8（ちくま学芸文庫）
フレデリック・ルノワール『人類の宗教の歴史』（トランスビュー）
ポール・スワンソン、林淳編『異文化から見た日本宗教の世界』（法蔵館）
末木文美士『日本仏教史』（新潮文庫）
石井研士『データブック現代日本人の宗教（増補改訂版）』（新曜社）
井上順孝編『映画で学ぶ現代宗教』（弘文堂）
櫻井義秀・三木英編著『よくわかる宗教社会学』（ミネルヴァ書房）
島菌進・西平直編『宗教心理の探究』（東京大学出版会）
吉田匡興他編『宗教の人類学』（春風社）
島菌進他編『宗教学文献事典』（弘文堂）
星野英紀他編『宗教学事典』（丸善）

・人類学専攻（博士前期課程）

以下のような図書を参考に勉強しておくことを勧めます。なお、この中から出題されるということではありません。

〔文化人類学領域〕

アパデュライ、アルジュン 2004 『さまよえる近代-グローバル化の文化研究』平凡社
綾部恒雄（編） 1984 『文化人類学 15 の理論』、中央公論社
綾部恒雄（編） 2006 『文化人類学 20 の理論』、弘文堂
アンダーソン、ベネディクト 2007 『定本 想像の共同体-ナショナリズムの起源と流行』白石隆、白石さや訳、書籍工房早山
ウェーバー、マックス 1989(1920) 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』、大塚久雄訳、岩波書店
太田好信、浜本満（編） 2005 『メイキング文化人類学』世界思想社
春日直樹（編）2008 『人類学で世界をみる：医療・生活・政治・経済』ミネルヴァ書房
ギデンズ、アンソニー 1993(1990) 『近代とはいかなる時代か？』、松尾精文・小幡正敏訳、而立書房
クリフォード、ジェームズとジョージ・マーカス（編） 1996 『文化を書く』紀伊國屋書店
桑山敬己、綾部真雄（編） 2018 『詳論 文化人類学：基本と最新のトピックを深く学ぶ』ミネルヴァ書房
竹沢尚一郎 2007 『人類学的思考の歴史』、世界思想社
前川啓治他（編）2018 『21 世紀の文化人類学-世界の新しい捉え方』、新曜社
マリノフスキー、ブロニスロウ 1980 『西太平洋の遠洋航海者』
『世界の名著 71 マリノフスキー、レヴィ＝ストロース』中央公論社
レヴィ＝ストロース、クロード 1980 『悲しき熱帯』『世界の名著 71 マリノフスキー、レヴィ＝ストロース』中央公論社

〔考古学領域〕

『講座日本の考古学』1 巻～12 巻（旧石器時代～近世）、青木書店
『縄文時代の考古学』1 巻～12 巻、同成社
『弥生時代の考古学』1 巻～9 巻、同成社
『古墳時代の考古学』1 巻～10 巻、同成社
『日本考古学年報』の「動向」、日本考古学協会
『史学雑誌』の「回顧と展望」（毎年の第 5 号）、史学会
『考古学ジャーナル』の「動向」（毎年の 6 月臨時増刊号）、ニュー・サイエンス社
日本考古学協会（編）2018『日本考古学・最前線』雄山閣
勅使河原 彰 1995『日本考古学の歩み』名著出版

・教育ファシリテーション専攻

以下のような図書を参考に勉強しておくことを勧めます。なお、この中から出題されるということではありません。

- 浦上昌則・神谷俊次・中村和彦（編），『心理学-Introduction to Psychology-第2版』ナカニシヤ出版，2008年。
土屋耕治・楠本和彦・中村和彦（編），『人間関係の学び方-人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践-』ナカニシヤ出版，2024年。
津村俊充・石田裕久（編），『ファシリテーター・トレーニング-自己実現を促す教育ファシリテーションへのアプローチ-』ナカニシヤ出版，第2版，2010年。
汐見稔幸編，『よくわかる教育原理』，ミネルヴァ書房，2011年。
無藤隆・森敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治，『心理学（新版）Science of heart and mind 2nd ed』，有斐閣，2018年。
津村俊充・山口真人（編），『人間関係トレーニング第2版-私を育てる教育への人間学的アプローチ-』，ナカニシヤ出版，2005年。
井上義和・牧野智和（編），『ファシリテーションとは何か-コミュニケーション幻想を超えて』，ナカニシヤ出版，2021年。
ジョンソン，D. W.（他著），石田裕久（他訳），『学習の輪-学び合いの協同教育入門』，二瓶社，2010年。
伊藤義美（編），『ヒューマニスティック・グループアプローチ』ナカニシヤ出版，2002年。
平松貞実，『事例でよむ社会調査入門-社会を見る眼を養う』，新曜社，2011年。
『統計学100のキーワード』弘文堂，2005年。日本教育心理学会（編），『教育心理学ハンドブック』有斐閣，2003年。
中澤潤編，『よくわかる教育心理学 [第2版]』，ミネルヴァ書房，2022年。
戸田山和久，『最新版論文の教室』，NHK出版，2022年。
中谷彪・野口祐子・小林靖子，『西洋教育思想小史』晃洋書房，2006年。

・言語科学専攻（博士前期課程）

以下のような図書を参考に勉強しておくことを勧めます。ただし、この中から出題されるということではありません。

[言語学領域]

- Akmajian, A., R.A. Demers, A. Farmer, and R.M. Harnish (2010)
Linguistics: An Introduction to Language and Communication (6th edition). MIT Press.
Fromkin, V.A., R. Rodman, and N. Hyams (2011) *An Introduction to Language* (9th edition). Wadsworth.
Fromkin, V.A. (編) (2000). *Linguistics: an introduction to linguistic theory*. Blackwell.
益岡隆志（編著）(2011)『はじめて学ぶ日本語学』ミネルヴァ書房。
大津由紀雄（編著）(2009)『はじめて学ぶ言語学』ミネルヴァ書房。
ピンカー、スティーブン（著）（棕田直子（訳））(1995)『言語を生み出す本能（上・下）』NHK ブックス。
辻幸夫（編集主幹）(2019)『認知言語学大事典』朝倉書店

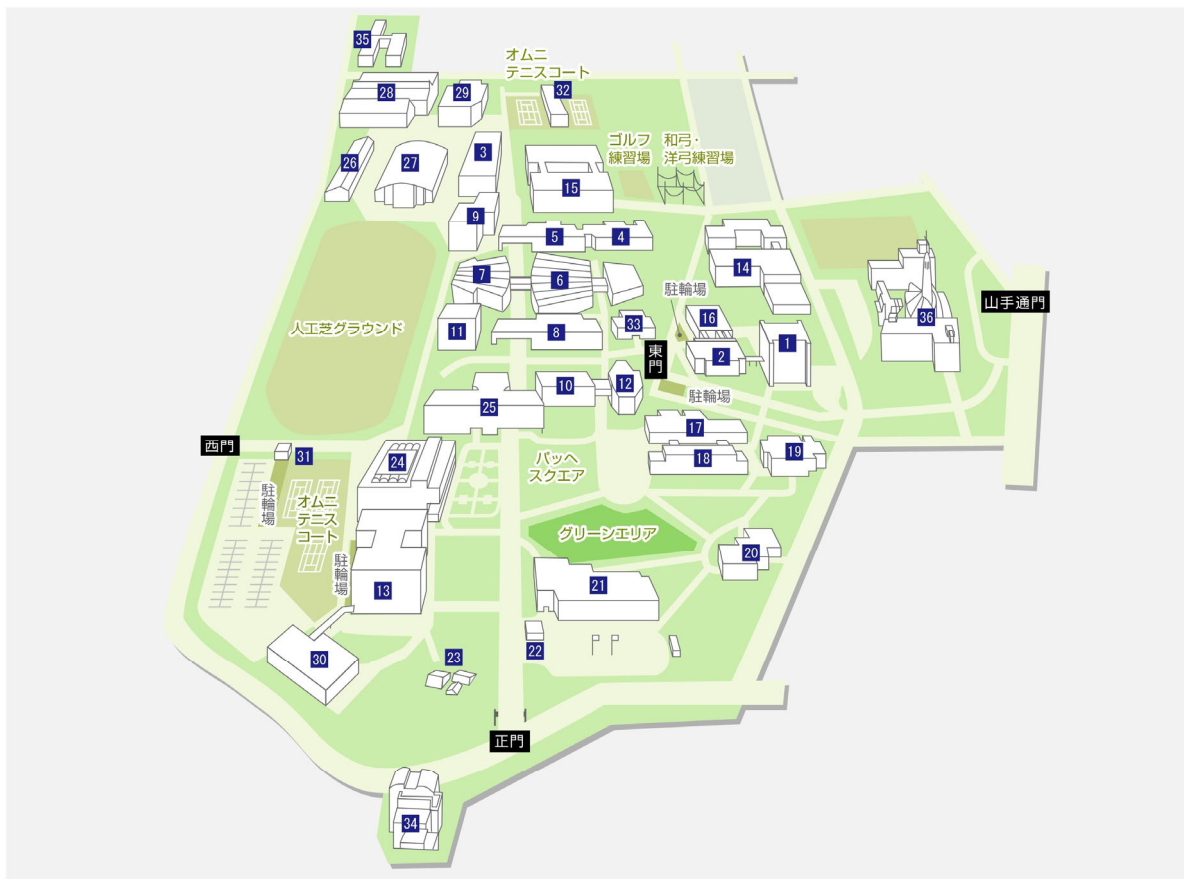
[英語教育領域]

- Brown, H. D., and H. Lee (2015) *Teaching by Principles: An Interactive Approach to Language Pedagogy* (4th Edition). Pearson Education ESL.
Brown, H. D. (2014) *Principles of Language Learning and Teaching* (6th Edition). Pearson Japan.
Lightbown, P.M., and N. Spada (2013) *How Languages Are Learned* (4th Edition). Oxford University Press.
Richards, J.C., and T.S. Rodgers (2014) *Approaches and Methods in Language Teaching*. Cambridge University Press.

[日本語教育領域]

- 川上郁雄（編）(2017)『公共日本語教育学 -社会をつくる日本語教育-』くろしお出版。
近藤安月子・小森和子（編）(2012)『研究社日本語教育辞典』研究社
佐藤慎司・ドーア根理子（2008）『文化、ことば、教育 -日本語/日本の「標準」を越えて-』明石書店。
迫田久美子（2020）『改訂版 日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク。
野田尚史（編）『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版。
細川英雄・尾辻恵美、マルチェッラ・マリオッティ（編）(2016)『市民性形成とことばの教育』くろしお出版。
本田弘之、岩田一成、義永美央子（2014）『日本語教育学の歩き方 -初心者のための研究ガイド-』大阪大学出版会。
Ortega, Lourdes (2009). *Understanding second language acquisition*. Hodder Education.
Saville-Troike, Muriel & Barto, Karen (2016). *Introducing second language acquisition*. Cambridge University Press.

南山大学 構内図



教室棟

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>1 A棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法科大学院棟 ・法曹実務教育研究センター <p>2 B棟</p> <p>3 D棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係研究センター ・学生交流センター ・教職センター ・保健センター
(保健室／学生相談室)
(／大学生生活支援室) <p>4 E棟</p> <p>5 F棟</p> | <p>6 G棟</p> <p>7 G30</p> <p>8 H棟</p> <p>9 J棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営研究センター ・社会倫理研究所 ・アメリカ研究センター ・ラテンアメリカ研究センター ・ヨーロッパ研究センター ・アジア・太平洋研究センター ・地域研究センター図書室 <p>10 K棟</p> | <p>11 L棟: ヒルシュマイヤー記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語学研究センター ・視聴覚教育センター <p>12 M棟</p> <p>13 R棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッテンホール ・国際センター ・外国語教育センター ・ワールドプラザ ・ジャパンプラザ ・多文化交流ラウンジ ・人類学博物館 ・礼拝室 ・南山エクステンション・カレッジ事務室 | <p>14 S棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報センター ・理工学研究センター ・BISTRO CEZARS ・丸善 ・LAWSON ・ラーニング・commons <p>15 Q棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア支援課 ・ラーニング・commons |
|--|---|--|--|

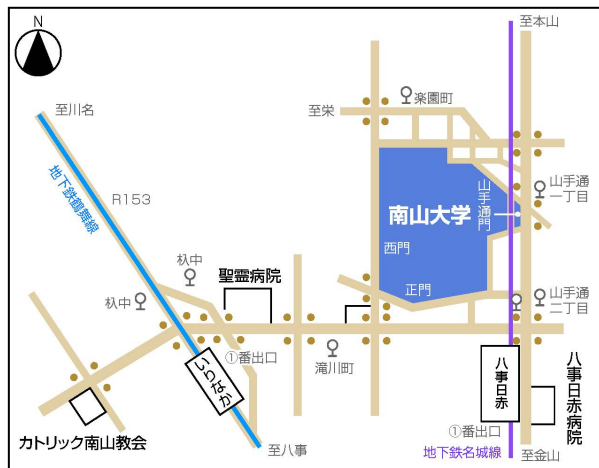
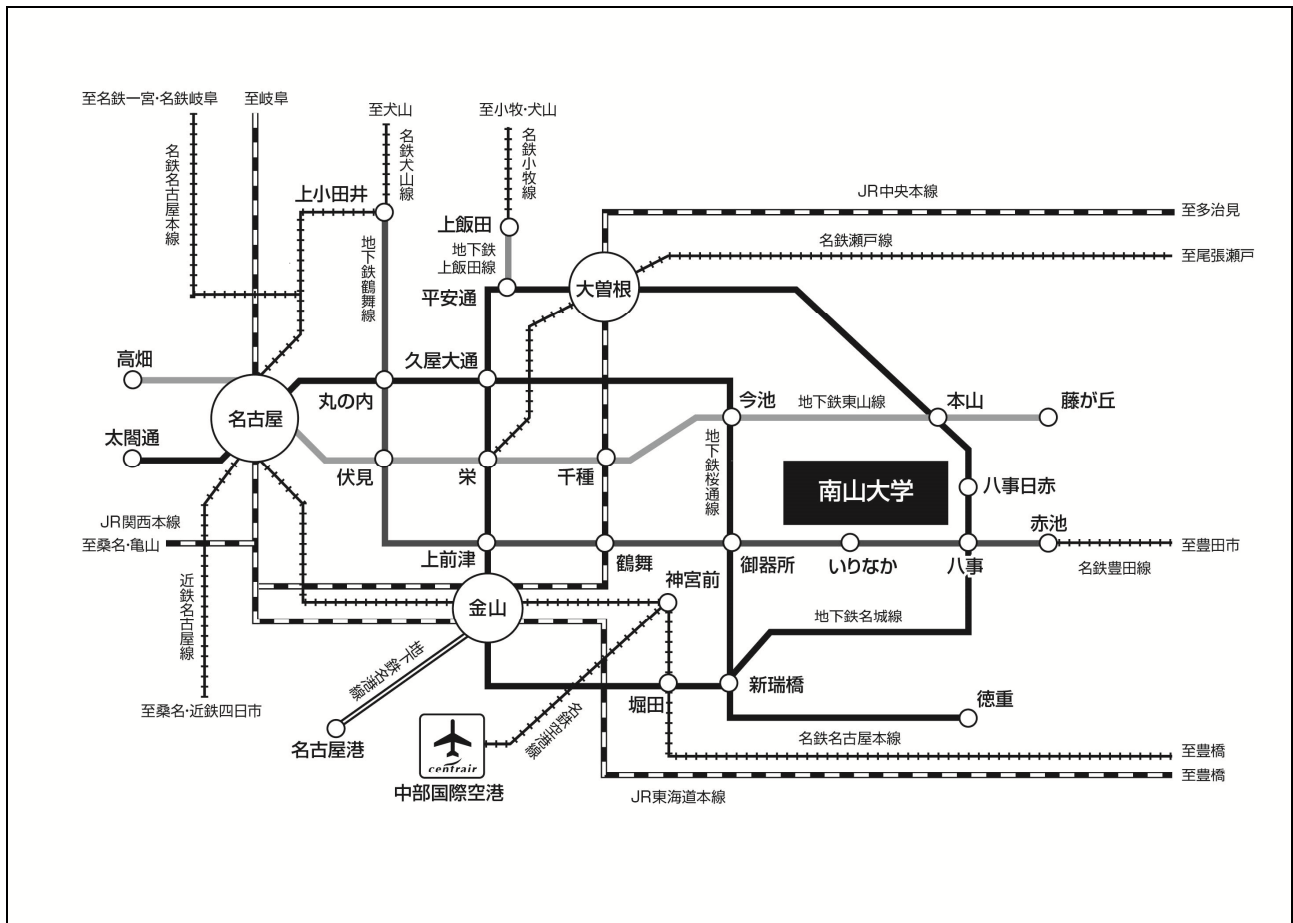
その他の施設

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>16 C棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生課 ・教務課 ・SWEETS MAGIC Lab. <p>17 N棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>18 第2研究室棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>19 南山宗教文化研究所／人類学研究所</p> <p>20 同窓会館</p> <p>21 本部棟</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学センター ・教学企画課 ・研究推進課 ・ウエルオン | <p>22 総合受付</p> <p>23 茶室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方寸庵・有也の席 <p>24 南山大学ライネルス中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニング・commons <p>25 第1研究室棟</p> <p>26 クラブハウス</p> <p>27 体育館</p> <p>28 体育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育教育センター ・メインアリーナ ・室内プール ・第3食堂 | <p>29 コバン: 学生会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修センター ・フォーノ ・CEZARS CAFE ・LAWSON ・咖喱日和 ・紀伊國屋書店 ・NES <p>30 リアン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアンカフェ ・クラブハウス | <p>31 西門受付</p> <p>32 第2クラブハウス</p> <p>33 ログスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教センター <p>34 南山大学名古屋交流会館</p> <p>35 南山大学ヤンセン国際寮</p> |
|---|--|--|---|

神言会施設

- 36 神言神学院**

南山大学 アクセスマップ



【 交通案内 】

地下鉄名城線「八事日赤」駅

1 番出口より徒歩約 8 分

地下鉄鶴舞線「いりなか」駅

1 番出口より徒歩約 15 分



南山大学

■入試に関するお問い合わせ先

■書類送付先

南山大学入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

E-mail ml-grad@nanzan-u.ac.jp

Phone (052) 832-3119 (直通)

■履修内容等に関するお問い合わせ先

人間文化研究科事務室

Phone (052) 832-4326 (直通)

<https://www.nanzan-u.ac.jp/>

南山大学は、ジブリパークのオフィシャルパートナーです。